



会報 第54号

筑 紫

発行者 社会福祉法人筑紫会 理事長 吉原 毅
 障害者支援施設 真壁授産学園 電話 0296-55-4007
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 1464-1
 障害者支援施設 真壁厚生学園 電話 0296-54-2578
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 8 5 2
 編集 筑紫会報 編集委員会

ひなの家 (C26) 2018 バージョンアップ真壁のひなまつり 楽しんで頂きました



○ひなの家駐車場 看板が入口に設置してあります。

○『ひなの家』入り口からひな壇周りに青竹に桃の花等を飾り、5セットのひな壇が皆様を出迎えます。そして小物・古布・地場野菜等を販売。高騰している野菜が安価で喜ばれました。

○駐車場・休憩所(トイレ)が完備しており、来場者の皆様に喜ばれました。

○軽食、コーヒー等体の温まる物をご用意し寛いで頂きました。(土・日・祝日)

●場所 桜川市真壁町亀熊 1992-1

大和屋薬局さん東側 1 分

ひなまつりマップ・・・186

お問合せ先 真壁厚生学園

0296-54-2578

真壁のひなまつり 2月4日～3月3日

社会福祉法人 筑紫会

目次

・行事のお知らせ	1 P
・筑紫会創立三十周年式典	2 P
・県外視察研修	3 P
・各種研修報告	4 P
・施設内行事・宿泊旅行・真壁のひな祭り5	6 P
・会員の広場	7 P
・ありがとう善意の心	8 P
・成人おめでとうございます	8 P
・表彰受賞者	8 P
・苦情受付情報	8 P
・入、退職者・入、退所者のお知らせ	8 P
・編集後記	8 P

行事のお知らせ

二月四日～ 三月三日	真壁のひなまつり出店(筑紫会)
三月 三日	三者面談 (授産・厚生)
五月 三日	合同運動会 終了後帰宅外泊
三月 三日	後援会役員会(運動会終了後)
五月 三日	ゴールデンウィーク休み
五月 四日～六日まで(通所)	五月四日～六日まで(通所)
六月 六日	帰園日 授産・厚生(午後)
七月 十四日	後援会定期総会 (午後)
八月 十一日	奉仕作業 (授産・厚生)
八月 十一日	合同夏祭り (授産・厚生)
八月 十六日	夏祭り終了後 帰宅外泊
八月 十六日	夏期休暇 通所(十二日～十六日)
八月 十六日	帰園日 授産・厚生(午後)

筑紫会創立三十周年式典

〔筑紫会創立三十周年式典を終えて〕

筑紫会 理事長 吉原 毅

当法人が創立三十周年を迎えることが出来たのも、関係者の皆様のおかげでございます。この場を借りて厚く御礼申し上げます。式典当日は、この三十年の歩みを凝縮したような素晴らしい一日となりました。実行委員を始めとした一人一人の職員が皆「どうしたらこの素晴らしい日を最高の形で祝えるか」「一緒に三十年を歩んで下さったご父兄や関係者の皆様に、どうしたら感謝の気持ちを伝えられるか」と心を砕いていたようでした。

私達筑紫会の歩みも、この度の職員のように、自ら考え行動してきたことの積み重ねでございます。筑紫会の理念でもありますが、これからも私たちは、人々の幸せを願いながら、夢と希望をもって創意工夫を重ね行動することで、より一層社会に貢献していきたいと強く思っております。



〔歴史を振り返り、未来へ繋ぐ〕

筑紫会創立三十周年を迎えるにあたり、平成二十九年十一月四日、つくば市のグランドホテル東雲にて記念式典が開かれました。桜川市長大塚秀喜様、茨城県議会議員白田信夫様、後援会会長根岸定雄様、顧問弁護士榎本昭様より御祝辞を賜り、永年勤続表彰として吉原事務局長をはじめ、4名の職員が表彰されました。また、これまで当法人にご尽力を賜りました皆様への感謝状の贈呈が行われ、その後、住田福祉様より『福祉の今昔、そしてこれから』という演題で素晴らしい講演をして頂きました。福祉のあり方、考え方が時間の流れに伴い変化していく中で、我々に求められているものは何か、今後どのように支援を行っていくべきかを過去・そして現在の福祉を交えながら話をしていただき、職員一人一人が自分の支援について見つめ直す良い機会となりました。

式典後は祝賀会が行われ、それぞれ思い出を語り合い、懐かしみながら和やかに食事の時間を過ごしました。吉本剣喜劇の皆様による余興では授産学園の猪野木支援員も参加し、スクリーン上映では、創立当初からの思い出の写真や職員全員の初々しい履歴写真が流れ、笑いあり涙ありのひと時を過ごしました。最後

は出席者全員での記念撮影を行い、閉会となりました。

三十周年という大きな節目にふさわしい盛大な式典となりました。三十年の歴史を大切にしながら、ますますより良い施設となるよう、ご利用者様に寄り添った支援を意識し、日々成長し続ける施設であるよう職員一同尽力して参りたいと思います。今後も筑紫会をよろしく願います。



〔式典〕

祝辞

- ・桜川市長…大塚秀喜様
- ・茨城県議会議員…白田信夫様
- ・後援会会長…根岸定雄様
- ・顧問弁護士…榎本昭様
- ・永年勤続表彰者
- ・吉原依子法人事務局長
- ・吉原晴美真壁厚生学園副施設長
- ・丸山武志真壁授産学園生活支援員
- ・藤田浩幸真壁授産学園主任
- ・授与者 吉原理事長

表彰者代表挨拶…丸山支援員



感謝状贈呈者

- ・大野芳廣様
- ・根岸定雄様
- ・高田章様
- ・加藤梅子様
- ・小田島郁夫様
- ・中村講治様
- ・笹目俊夫様
- ・青木脩一様
- ・足立惣一郎様
- ・渡辺雅雄様
- ・臼井光一様
- ・根本明様
- ・君山誠様
- ・工藤忠男様
- ・岡部正敬様
- ・浅野敬繁様

記念講演

- ・講師 一般社団法人 茨城県心身障害者福祉協会会長 住田福祉様
- ・演題「福祉の今昔、そしてこれから」
- ・友人代表挨拶
- ・清郷会理事長 三橋輝男様

〔祝賀会〕

乾杯

- 筑波銀行 代表取締役会長 植木誠様
- 余興「吉本剣喜劇」

県外視察研修(変化を期待) と親睦旅行

自ら考え意識を変える

■自ら考え取り組む研修

社会福祉法人の役割が大きく変化する中、法人でグループ毎に県外の施設・企業を視察し、職員の資質の向上・処遇のサービス向上等に生かせる、施設運営や様々な取組をご教示頂き、職員自らの意識を変え、更なる事業を進めていきたいと今回の研修に至りました。

研修を実施するに至っては、十一のグループに分け関東近県の施設を各グループで選定、研修希望先にアポを取り、依頼(研修内容)、宿泊の手配、その他職員間の親睦が図れる内容等、多岐にわたり自分たちで考えて行つて頂きました。視察研修が目的という事で、各施設から助成金が支給されました。

研修報告会が今年四月一日に予定されており、成果発表が期待されると思います。

そんな折、視察先の「のばら園施設長／サポート誌編集出版企画委員会委員長」浜走様よりサポート誌取材のお話が舞い込み二月十五日取材にお見えになりました。(30年4月号掲載)

視察研修が終了しているグループ(両施設)の研修報告を頂きましたのでご紹介致します。

真壁授産学園 主任 藤田浩幸

■モチベーション上がる

授産学園メンバーは施設見学を始め、就労センター(就労継続支援B型)に関わる作業の取り組み(パン工房・農耕作業・加工食品事業)、食事提供の取り組み事例について(高齢のご利用者様に対しての提供法、個別に工夫している食事形態等)、就労センターの生活介護とは…等々。各視点から先進的な取り組みがなされている所を吸収すべく勉強してきました。

所変われば品変ると申しますが、どの事業者さんもオリジナリティーを出し、少しでもご利用者様へ高い工賃をと、通所施設であれば毎日活き活き通って来られるように…と、努力、邁進している姿勢が伺われました。

施設の立地条件や地域環境もありま

すので、一概にすべてを吸収するということとは出来ませんが、福祉に携わる者としてなかなか拝見できない県外施設を見学できたことにより、スキルアップに関わるモチベーションが上げられ、学んでこられたと感じます。

真壁厚生学園事務員 落合和子

■意欲は見出す力なり

真壁厚生学園では、今回の研修は、県外の施設を視察し、法人・施設の抱える課題をご教示頂き、そこから、何らかの運営方向や処遇の向上に生かせる取り組みがあればと研修に臨みました。

また、職員間で、リフレッシュできる、就労センター(就労継続支援B型)に関わる作業の取り組み(パン工房・農耕作業・加工食品事業)、食事提供の取り組み事例について(高齢のご利用者様に対しての提供法、個別に工夫している食事形態等)、就労センターの生活介護とは…等々。各視点から先進的な取り組みがなされている所を吸収すべく勉強してきました。

視察訪問の第一班は、昨年六月の横浜を皮切りに始まりました。

主な研修内容は

1. 施設見学
2. 危機管理(火災・大地震・自然災害の対策対応・BCP策定等)
3. 緊急事態の対策対応等(不審者・感染症・入院等)高齢者の終焉までの対応対策
4. 自閉症や強度行動障害者の対応等

5. 作業や日中活動レクリエーション・余暇支援等
6. 食事形態と給食業務の直営、委託の業務内容の相違点等
7. 人材確保の独自の対応等
8. 地域との関わり方等(地域貢献)等々でした。

■視察研修から得たこと

この度の研修訪問では、各施設様が視察内容を快く真摯にお受け頂き、且丁寧にご説明を頂きまして、心よりお礼申し上げます。

どの施設さんも、常にご利用者様との関わりを大切にして物事をお考えになる、また職員の支援スキルをあげるため、職員互いの負担をどう減らせるか、心のケアを大切にしていることの実践。そして、創意工夫や職場環境を整える重要性について、熱く語られる姿に、熱意と深い感銘を受けて参りました。

さらに、共に勉強する機会を得たいとお話しがあつた施設さん。昼食をはさみ5時間もの話し合いとなつたグループもあり、様々な課題に取り組むことができました。

このことから、改めて感じたことは、自らの業務に対する思いと極め方は、掘り下げていけば、限りなくあるということです。これを機に創造性を働かせ、追求しながら次に生かしていけたらと考えています。

様々な研修を通して学ぶこと

～変革に対応するために～

変わり続ける社会福祉制度の中で、変革に対応するべく、当法人では様々な研修を取り入れています。今回は、今年度行われた研修の一部を紹介致します。

◎虐待防止・権利擁護研修

真壁厚生学園 施設長 吉原大樹

当法人では、ご利用者様への虐待防止・権利擁護の研修を毎年行っています。毎年行っていますので、もしかすると職員の中には耳にタコができるのではないかと心配している方もいるかもしれません。ですが、しつこいぐらいに研修などで繰り返し伝え聞かせることは理解し、常に自分の行いを客観

筑紫会役員等学ぶ研修会



二月二十五日真壁厚生学園にて、法人経営コンサルタント谷本氏を講師にお招きし、筑紫会の理事・監事・評議員の皆様を対象に学ぶための役員研修会を実施しました。

平成二十九年四月一日施行の改正社会福祉法は、旧法と大きく異なり会社法等と同じく、「定款自治自己責任」の考え方に基づいた法律となっております。その趣旨や役員における役割と責任、義務の内容を、今回、法人として自立的に学びました。

研修会は予定時間を超え、活発な質問・確認の意見があり、皆様真剣でした。

視して気を引き締める事も必要です。他法人の虐待や権利侵害の事例を見ても、①虐待文化の普通化②突発的虐待③無意識的虐待等に分類することができるといいます。当法人の研修は、なぜそれらが起こるのか、そのメカニズムや心理、背景から学んでいきます。また、障害者虐待防止法や障害者差別解消法等も具体例を交えながら説明し、体系的な知識の習得を促しています。虐待防止や権利擁護に関する研修を通して、ご利用者様への支援における透明性の高い職場作り、相手を尊重する風通しのよい風土作り等をしつかりと法人の文化として根付かせ、健全な施設運営を行うことが、これまででも、そしてこれからも社会福祉法人にとって大切であると私は考えます。

◎虐待防止委員会の取り組み

真壁厚生学園副施設長 吉原晴美

真壁厚生学園では、虐待防止法の精神に則り、事業所における虐待防止責任者、虐待防止委員会及びマネージャーを配置しています。

昨年度は、虐待防止委員会主催の研修を行いました。グループごとに話し合いを行い、各職員の共通意識の統一と施設サービスの質の向上、人材の育成に努め、実践に繋げることを目的としました。

この研修を通し、各職員が虐待につ

◎サービス評価基準研修

真壁厚生学園 主任 小原孝明

去る年末、真壁厚生学園にて全職員対象のサービス評価基準研修が実施されました。施設側が質の高いサービスを提供しなければ、ご利用者様から選択される事が困難になる一面がある為、事業運営から現場に至るまでの具体的な問題点を洗い出して把握し、見直し改善を行う事で、良質且つ適正なサービスの質の向上を図る事を目的としています。

今回の研修では、グループごとに四十五項目の議論をしました。話し合いの中で、「職員間のコミュニケーション」「地域との交流」など、まだ手探り状態であるといった課題が挙がりましたが、いくつかの課題が顕在化された事が、今回の研修の収穫と言えます。今後はこれらの課題を改善できるよう、全職員が同じベクトルを向いて業務に取り組んでいけるようにしたいです。ご利用者様やご家族のニーズが多様化している昨今、柔軟な対応が求められ始めています。今回の研修を通して、更に一歩踏み込んだサービスの向上が図れるよう励みたいと思います。

大盛況・大満足・今年も笑顔満載！ 第三十回 学園祭

授産学園と厚生学園合同の学園祭も、今年で三十回を迎える事が出来ました。今年度は晴天に恵まれず、あいにくの天候でしたが、ご利用者様の笑顔のお陰と言っているのでしょうか。午後より雨も上がり、例年通りの学園祭が開催された事に感謝しております。

＜今年の学園祭イベント＞

毎年恒例の明野よさこい様並びに三伍会様の踊り、今年初めての寿かおり様の演歌ショー、そして去年に引き続きJuke Box様のライブを開催しています。年代別の曲を取り入れてくれた事により、様々な年代の方が唄を樂しむ事ができ、流行りの曲『星野源 恋』では、会場全体で皆が踊り出す場面も見受けられ、唄の力は凄いと改めて感じさせられました。

＜新企画☆新しい試み＞

今年初めて開催した『私の好きな物ミュージアム』では、各職員が日頃より温めている物や思い出の品等を持ち寄り、休憩所の一角にて設置されました。職員一人一人の人物等がご利用者様やご父兄、そして一般のお客様により身近に感じて頂けたらという想いで新しく企画しました。色々な方々が興



味を持たれ、足を止めマジマジと目にしてくれており、高評価の声も聞かれ、開催出来た事に安堵の笑みがこぼれました。今回の企画が来年、再来年と引き継がれる事を期待したいですが、新しい企画も必要なので、毎年同じ企画を継続するのではなく、毎年一部のみ変化がある学園祭が出来ればと思います。

＜模擬店＞

今回『たこ焼き』が新メニューとして加わりました。天候に左右されやすい模擬店と言えますが、今年は、温かい物の売れ筋が良かったように感じます。ただ全体的に売れ筋は良く、模擬店の出し物にも満足して頂けた結果だと感じます。

今回の学園祭は、雨天と寒さの中で開催でしたが、ご利用者様は年一度の行事ということで前日よりテンションはいつも以上に高く、そして当日

リフレッシュ満喫☆親睦旅行～群馬県水上方面～

【真壁授産学園】

今回は九月三日と四日に群馬方面の旅行となりました。前日まで天候不順で心配されましたが、当日は晴天となり、気温も高くはならず良い旅行日和となりました。一日目は、日光中禅寺湖の華厳の滝を見て壮大な風景に圧倒され、マイナスイオンを浴びてリフレッシュする事が出来ました。その後どう狩りでは、その場で食べた方、ホテルで食べた方、学園まで持ち帰った方と様々でありましたが、皆満足した様子でした。宿泊先は水上温泉「ホテル聚楽」でした。宴会場は貸切となり、バイキング食を堪能しました。お腹がいっぱいになると、カラオケが始まり、大盛況となりました。

の天候はお構いなし。行事があることで、日頃のストレス発散や楽しみの場を提供出来ているのだと思います。開催するまでに様々な苦労等もありましたが、こちら側が一番気持ち良く思えたことは、行事の当日、ご利用者様の笑顔が見られた事、そして、誰一人として事故や怪我等もなく終了出来た事に感謝の気持ちしかありません。

二日目は、大塚製薬の高崎工場を見学しました。見学した日は生産ラインのメンテナンスの為、残念ながら実際の稼働状態は見られませんでした。ポカリスエットの生産工程をビデオで見せて頂きました。最後に生産商品で全員頂き感激をしました。昼食は佐野ラーメンを食べましたが、副食も多く付いたのでお腹いっぱいになり皆満足した様子でした。今まで昼食もバイキング食というパターンが多かったのですが、今回昼食にラーメンを食べて新鮮さを感じました。

今回も本体とは別に「別行動班」を設けました。こちらは歩行が困難なご利用者様六名、ご父兄一名、職員三名の計十名が参加しました。宿泊先は本体と同じ「ホテル聚楽」ですが、途中の休憩所や見学先は皆の意見を聞いて行きたい場所へ行くことにしました。その為二日間ともゆったり且つまったりとした旅行が出来たと、とても満足な様子でした。



☆笑顔満開の宿泊旅行☆

◆宿泊旅行

【真壁厚生学園】

十月十二、十三日の二日間にかけて皆さんが待ちに待っていたイベントの宿泊旅行が行われ、今年は福島県いわき・猪苗代方面に出かけました。

まず、一日目は、アクアマリンふくしまへ。水族館へ近付くにつれ、景色は山から海に変わると「見て、海だよ！」と景色を楽しむ声が聞こえました。水族館では、大小様々な魚や、不思議な海の生き物がたくさんいて、気になる生き物を見つけると水槽を指しながら「これは何の魚かな」「面白いね」と目を輝かせて見ていました。

一日目の昼食は、採れたてのマグロのお刺身定食をお腹いっぱい食べて皆さん大喜びでした。



二日目は、鶴ヶ城へ。城までの道を皆さんで頑張ってきました。立派な城が見えると「すごく立派だね」と驚いていました。城の中に入り、最上

階まで登る方

と、中には入らず城の周りをお散歩する方と自由に分かれて観光しました。城の頂上から見る景色は眺めが良く遠くまで見える景色を楽しむ方もいれば、城の周りの紅葉を見ながら記念撮影する方もおり、それぞれが楽しんでいました。また、普段は見られない景色という事もあり、感激していました。



二日目の昼食はホテルでのバイキング。たくさん料理に目を奪われ、好きな物を好きなだけ食べて大満足でした。旅行先では、記念に残るお土産を購入していて、とても嬉しそうでした。

今回の旅行では、皆さんから「楽しかった」「また行きたいな」との喜ぶ声が多くあがり、最後まで笑顔があふれていました。二日間ともに天候にも恵まれ、一人一人が心に残る旅行になりました。ご参加頂いたご父兄の方々には、感謝申し上げます。

ひな祭り出店、地域と共に取り組む

真壁のひな祭りとは？

十年以上に渡って続く真壁の看板行事「真壁のひな祭り」。約百六十軒の家が雛人形を飾る一大イベントであり、町全体が総力をあげて取り組んでいます。真壁のひな祭りの起源は、『寒い中、真壁に来てくれた人をもてなそう』という心です。由緒正しき雛壇から、圧巻の吊るし雛まで、趣向を凝らした雛人形の数々が、多くのお客様を楽しませていきます。

また、真壁町といえば、旧郵便局や酒蔵など、百を超える数の建物が国の登録有形文化財となっており、その趣深い街並みを見て回るのも醍醐味となっています。約四百年に渡って城下町として繁栄した真壁の歴史、息づかいを感じる事ができるでしょう。多種多様な雛壇に、味わい深い建造物群。この二つのコラボレーションこそが、真壁のひな祭り最大の魅力であると思っています。

筑紫会としての取り組み

筑紫会では、平成二十五年度より、グループホームタートルベアの敷地に

の面においても大変貴重な行事へと変化しつつあります。

「ひなの家」を出店しています。「ひなの家」では、色鮮やかで趣のある雛人形の展示はもちろん、駐車場の運営、揚げ餅やお汁粉など軽食の提供、学園で作った野菜の販売、風情ある手芸品の販売なども行っております。中でも、柳の飾り木は目玉商品として好評を頂いており、「きれいだから今年も買いたい来ました。」というお客様の声も多く挙がっています。

グループホームで暮らす入居者の方々も、毎年訪れる多くのお客様との触れ合いの場になっており、地域移行

真壁のひな祭りに参加して五年が経ちましたが、毎年新鮮な気持ちで、変化を楽しみながら職員一同取り組んでいます。地域の方々、お客様、いつも笑顔で手伝ってくれるタートルベアの入居者様。ひな祭りに関わる全ての方への感謝を忘れる事なく、これからも真壁の発展、活性化に少しでも寄与することが、我々の果たすべき役割だと考えています。今後も皆様をおもてなしできるよう努力して参りますので、真壁のひな祭りと同様に、筑紫会の「ひなの家」も何卒よろしく願います。

シリーズ

会員の広場

会員の広場の掲載が始まり、十八回目となりました。今回は、授産学園の栄養士と厚生学園の支援員のお二人に自由なテーマで書いて頂きました。それぞれ、今までの振り返り、思いを馳せる内容で書いて頂けたと思います。

思い出

〜栄養士になるまで〜

真壁授産学園 加藤 美幸

今年で真壁授産学園に勤務して十五年目を迎えます。栄養士として、ご利用者の健康面や栄養面、食事の希望を聞きつつ満足できる献立作り等、黙々と業務に従事していたように思います。振り返ると「あつという間だったなあ」と感じています。そして、ふと、栄養士になるまでの思い出がよみがえりました。

高校生の時にさかのぼり、進路について悩んでいた頃、できれば人の役に立つ仕事に就きたいと考えていたので、家族に相談して資格を取る了承をもらい、進学を希望しました。しかし、

資格を取るにも何の職種がいいか等、何も決めていなかったので、再度家族に相談した所、「食事中におばあちゃんを何かと気にかけていたから、介護の仕事がいいんじゃない?」と言われ、介護士を考えました。

ちょうどその頃、進路説明会があり、そこで栄養士という職種を初めて知りました。小さい頃から、親の後にくっついて食事作りや味見のお手伝い、家庭菜園の野菜の収穫、竹の子掘り、田んぼでセリ摘み等、『食』に関する多くの体験や、経験をしてきたので、「栄養士もいいなあ」と思うようになりました。どちらの職種にするか悩み、栄養士ならば食事で高齢者にも関われば、また、人の役に立つ以外に自分にプラスになる知識が身に付くと考え、栄養士の資格を取ることに決めました。

将来の設計で二十歳からは就職して働こうと思っていたので、専門学校か短期大学にするかで、進路相談の先生に聞いたり、学校説明会に行ったりと学校の情報収集をし、気に入った短期大学を見つけて受験しました。試験は最も苦手とする面接でした。質問に対して言いたいことがうまくまとまらず話せない難点があったので、受験までの間、副担任の先生に一对一で面接の猛練習に付き合ってもらった。その成果が実り無事合格することができました。

高校から進学、就職と悩みが多い時

期でもありましたが、家族や先生方に助けられ、支えられたからこそ、乗り越えられたと思います、とても感謝しています。

年頭に思う

〜パソコンを覚えたい!〜

真壁厚生学園 村山 洋幸

今年の年頭の抱負で私は、「今年こそ、パソコンを覚えたいです。本を購入して勉強したいと思います。」と、述べました。

思い起こせば、私が真壁授産学園に指導員として配属になったのは、平成元年九月一日のことです。その当時は、記録や書類等すべて、今のようなパソコンではなく手書きでした。今のようにはパソコンで作成するより、時間も日数もかかり、とても大変だったように思います。

平成五年に真壁厚生学園の事業開始と共に、以前、うなぎ屋に勤めていたこともあり、調理員として異動になりました。その時期は、指導員時と比べると、書類関係が少なかったこともあり、手書きでもそんなに負担に感じませんでした。その後、調理部から支援部の支援員に再び異動になりました。すでにパソコンが導入されており、それまでパソコンを触ったこともなく、

初めてのことで、自分にできるかどうか不安と緊張でいっぱいでした。

まずは、他の職員に教わりながら、指一本でローマ字を打つ練習から始めました。最初は、自分で記録を打ち込んで、他の職員に見てもらい、手直しをしてもらうという日々で、時間も大変かかりました。当時の職員にサポートしてもらったことで、少しずつではありますが、記録等の文章はパソコンで打てるようになりました。とても感謝しています。

しかし、文章は何とか打てるようになりましたが、書類作成となると、まだ途中で操作が分からなくなり、他の職員に教わりながら行っている状況です。年を重ねてのパソコン操作は大変ですが、「今までずっと、他の職員に頼り過ぎており、それではいつまで経っても迷惑をかけ、自分の為にもならない」と強く思いますので、今年こそは、覚えようと本気で考えています。

今でもタッチタイピングとはいかず、両手合わせて二本の指で打っています。まずは、文書を作る際、どこをクリックしたらどう操作できるかわからなくなるワードから、初級の本を購入して取り組みたいと思います。



ありがとう 善意の心

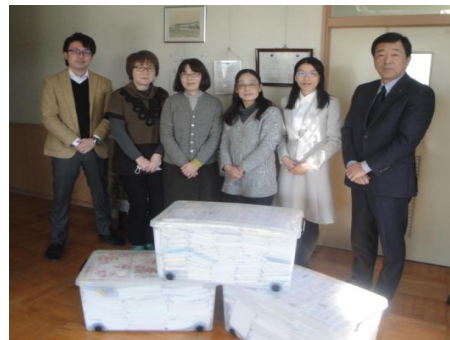
○寄付・寄贈

B1スポーツ 様	テイック 様
筑紫会後援会 様	丸兼商事 様
魚 徳 様	根岸 定雄 様
安藤 昌知 様	田中 芳信 様
桜川市社会福祉 様	村山 英雄 様
協議会 様	

○ボランティア

大山 利聖 様	市村 涼之 様
根岸 祐佳 様	関 望光 様
泉 桜 様	下条 紅葉 様
植竹 亜以理 様	今喜多 結菜 様
杉山 日菜 様	塚本 大輔 様
成島 空 様	増淵 美恵子 様
添野 文江 様	枝 遙奈 様
堀 真梨子 様	森田 瞬 様
野田 祐多 様	奥山 英雄 様
小幡 祐貴 様	渡辺 岳虎 様
北沢 琴音 様	藤田 真澄 様
坪井 寛樹 様	大塚 綾矢香 様
矢花 光 様	宮田 有香里 様
茂田 未季 様	阿部田 麻衣 様
野原 零士 様	土田 みなみ 様
明野よさこい 様	神立三五会 様
真壁桜之舞 様	グリーンローズ 様
JukeBox 様	寿 かおり 様
○奉仕作業	
授産学園	厚生学園
二十五家庭三十名	三十一家庭五十二名

○郵便局グループ様より、たくさんのお金を頂きました。ご利用者様へ配布をしたり、また、マカパンでも使用させて頂きます。



○京葉鈴木グループ代表、鈴木孝行様より新米二十キロずつ、真壁授産学園と真壁厚生学園の両施設に寄贈して頂きました。皆さん感謝しながら美味しく頂きました。

両学園の事業にご支援頂き

誠にありがとうございます。

この場をお借りいたしました。

御礼申し上げます。

☆成人おめでとうございます☆

本年度は授産学園のご利用者様、福音佐香さんが成人を迎えられました。福音さんは、いつも明るくまわりの方を笑顔にしてくれます。

今後のご活躍をご祈念しております。

☆平成二十九年年度表彰受賞者☆

受賞おめでとうございます。

今後とも健康にお気をつけ、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

【全国社会福祉協議会永年勤続功労者表彰】

支援員 丸山 武志 (授産)

【茨城県社会福祉協議会会長顕彰】

支援員 渡辺 雅雄 (授産)

【茨城県警察本部長・茨城県安全運転管理協会長連名表彰 優良運転者】

事務員 落合 和子 (厚生)

【桜川地区優良運転者表彰】

栄養士 加藤 美幸 (授産)

事務員 酒寄 康行 (厚生)

【桜川地区優良安全運転管理者表彰】

支援員 丸山 武志 (授産)

苦情受付・相談

平成二十九年年度苦情受付のご報告を致します。

今年度の苦情受付は0件でした。今後ともご利用者様やご父兄の皆さまが安心

できるような施設運営に尽くしていきたい

ですので、よろしくお願い致します。

◎筑紫会苦情受付担当

真壁授産学園 高橋・大山

(0296・55・4007)

真壁厚生学園 吉原(晴)・杉山

(0296・54・2578)

入、退職者・入、退所者のお知らせ

▽退職者(支援員)

12/31付 金子 優衣 (厚生)

9/30付 渡辺 心 (授産)

▽入職者(事務員)

2/1付 宮田 有香里 (厚生)

▽通所ご利用者様

9/11付 泉 美唯 様 (厚生)

▽施設入所利用変更

10/1付 板橋 弘 様

《授産→厚生》

お悔やみ申し上げます

平成二十九年十一月二十六日

真壁厚生学園入所 倉持 千恵子様

平成三十年 二月 十日

真壁厚生学園入所 川面 敏紀 様

職員並びにご利用者様一同

ご冥福をお祈りいたします

《編集後記》

▼本会報は、両施設とご利用者様の様子を伝えることを主な目的に編集しております。今後の紙面づくりに活用させて頂くため、ご意見とご感想をぜひお寄せください。

▼今年度は、和田・吉原(亜)・保坂・水柿(授産)、落合・木村・平井・内海・高久(厚生)が編集致しました。

